



今号の紙面から ● 4面 ひとり親家庭等子どもの生活・学習支援事業を開始 ● 5面 コミュニティバス「かわせみ号」の割引制度を変更

一步踏み出して、新しい自分を創る

あなたの“始めたい!”を応援します

市民活動のススメ

お互いが支え合い、それぞれの人生を有意義で自分らしく生きることは、自分の人生を豊かにするだけでなく、地域の活性化にもつながります。またさまざまな地域の担い手と市が力を合わせ、地域の課題を解決することで、未来へと続く魅力ある街が作られます。

「何かを始めてみたい」と一步を踏み出そうとする方々を、市ではさまざまな形で応援しています。今回は市の主催する講座に参加したことをきっかけに、現在NPO法人「市民活動コーディネーターの会(NPO MILC)」を立ち上げ、代表として活躍されている浦崎道教さんにお話をうかがいました。



きっかけは定年後を楽しむための新たな趣味と仲間づくり

2011年 1月

2011年 7月

2012年 5月

2013年~

2015年 9月

2017年 現在

東日本大震災がターニングポイントに

2011年1月
定年退職を控え、何かしてみたいと思い、**広報まちだ**で「生涯学習コーディネーター養成講座」の募集を見つけ受講。その期間中に東日本大震災が発生した。

浦崎さん：楽しいことを求めて参加した講座でしたが、震災をきっかけに被災地のために何かしなくてはいけないと思いました。この時から、町田で何ができるのかを考えるようになりました。

2011年7月
震災後、講座の参加者に呼びかけて自ら「生涯学習コーディネーターの会(MILC)」を設立。社会や人のためにできることを考え、市民が社会的な関わりを持ち、元気になるための企画を始める。

浦崎さん：被災地の状況を多くの方に知っていただくため、現地で撮影を行った写真家などを招いた講座を企画しました。

2012年5月
浦崎さんの活動が地元のタウン誌に掲載されたことをきっかけに、地域からの要請で、自治会の副会長を務める。

2013年~
2013年度から市民協働フェスティバル「まちカフェ!」の出展などに関わる。翌年からはプロジェクトにも参加し、協力団体として支援。

2015年9月
NPO法人「市民活動コーディネーターの会(NPO MILC)」を設立し、代表理事となる。市民が社会的な関わりを持つことを目的に、市民塾等を開催。

浦崎さん：地域の素晴らしい人材と、社会参加をしたい市民をコーディネートするのが私の役割でした。市民塾の募集にあたっては、**広報まちだ**の「市民の広場」等を活用しました。

そして現在
「NPO MILC」を始め、自治会から委託され、高齢者などを支援する「たすけあいの会」での活動や、社会福祉協議会「ここなび」で青少年の悩みごと相談員を担当するなど、幅広い分野でいきいきと活躍されています。

みなさんの 始めの一步 を応援します ~ 市民活動の情報収集手段いろいろ

1. 市の催しや講座に参加

◎月2回発行の**広報まちだ**の「催し」欄をチェック!

◎**町田市ホームページ**でイベント情報を検索!

市ホームページのトップページ右下の「イベントカレンダー」からも情報収集できます(右図参照)。



◎「**生涯学習NAVI好き!学び!**」をみよう!
成人向けの講座・イベントを掲載。年に4回(春・夏・秋・冬)発行し、市内の各公共施設等で配布しています。町田市ホームページでもご覧いただけます。6月末に夏号を発行予定です。

市HP [生涯学習ナビ](#) 検索
問生涯学習センター ☎728・0071



イベントカレンダー

2. 市民サークルに入ろう

◎**広報まちだ**「市民の広場」

毎月15日号に、気軽に参加できる市民サークルの情報を掲載しています。詳しくは2面をご覧ください。

問広報課 ☎724・2101

◎生涯学習センター6階「情報・資料コーナー」

市や、近隣大学、市民サークルなどが行うイベント、講座、会員募集のチラシ等、さまざまな情報を入手できます。また、生涯学習センターではバラエティに富んだイベント、講座・講演会や、生涯学習ボランティアによる学習支援も行っています。「何か始めてみたい!何か学んでみたい!」と思ったらまずは生涯学習センターにご相談下さい。

問同センター ☎728・0071